

第 3 回

和漢医薬学会若手研究者フォーラム

～伝統の守と破～

プログラム／要旨集

会期：2022 年 8 月 21 日 (日)

会場：オンライン開催 (Zoom)

主催：和漢医薬学会次世代を担う若手研究者の会

後援：和漢医薬学会

○概要

和漢医薬学会次世代を担う若手研究者の会では、これまで、学術大会の中で、分野の垣根を超えた交流を目的にシンポジウムを企画してきましたが、限られた時間の中で十分な議論ができていたとは言い難い状況でした。そこで、第 37 回学術大会の開催に合わせ、若手研究者がより活発な議論を行う場として「和漢医薬学会若手研究者フォーラム」を企画し、2020 年に第 1 回を開催致しました。本フォーラムの設置理念に基づき、本年度も『第3回和漢医薬学会若手研究者フォーラム～伝統の守と破～』を実施致します。

なお、フォーラムも学術大会と同様、オンラインによる開催となります。

○参加者の皆様へ

1. 参加費は無料です。
2. Zoom サイトは 12 時 30 分よりオープンします。
3. Zoom サイトは参加登録時のメールリンクよりご入室下さい。
4. 通常の学会と同じく、演題の撮影・録音は禁止します。また、ミラー配信も禁止します。
5. 参加にあたって、年齢制限はありません。ただし、質疑に関しては若手研究者が優先的に行えるように、ご配慮をお願いします。
6. 服装に特に決まりはありません。

※参加中の注意

- 表示名を氏名+所属に変更して下さい。
(例: 吉野鉄大@慶應義塾大学)
- マイクはオフにして下さい。
- 質問以外でチャット機能は使わないで下さい。
- 質問のある方は、チャット機能を用いて簡単な質問内容 (例: ○○実験の方法について) を入力してください (送信先は全員)。質疑の時間になりましたら座長が指名しますので、その際はマイクのミュートを解除して質問して下さい。
- Zoom のバージョンにはご注意願います。アップデートされていない方は事前に最新のバージョンへのアップデートをお願いします。また、ブラウザ版では互換性の問題で必要な機能を使用できない可能性があるため、Zoom はなるべくインストール版をお使い下さい。

Zoomの使い方マニュアル（一般参加者用）

通常時、質疑応答時

チャット入力画面

ここは全員を選択してください。

送信先: 全員

第一薬科大学 久保山友晴
n数はどのくらいですか？

- Winの場合、Alt+Enterで改行、Enterで送信です。
- Macの場合、Control+Returnで改行、Returnで送信です。

これは音声とビデオがONの状態です。
質問者以外は両方OFFにしてください。

ここを押すとチャット入力画面が出ます。

ミュート解除 ビデオの開始

プレゼンテーション時

ここを押すと、この小画面（サムネイルビデオ）が消えます。

久保山 友晴

○発表者の先生へ

1. 発表は、プレゼンテーション 5-10 分・質疑応答 10-15 分の合計 20 分です。時間厳守をお願いします。
2. 発表は PowerPoint ファイルの共有で行います。発表時は、画面下にある「共有」をクリックし、共有したいファイルをお選び下さい。その後、スライドショーを開始して下さい。発表が終了しましたら、画面上部に表示される「共有の停止」をクリックして下さい。
3. 画面サイズは 4:3 で作成して下さい。
4. 演者の交代などがある場合は、早急に事務局（担当：吉野（070-4833-3591））までご連絡下さい。
5. 発表は座長の指示に従って下さい。
6. 筆頭演者は、和漢医薬学会の「医薬学研究の利益相反（COI）に関する指針」(<https://www.wakan-iyaku.gr.jp/riekisohan/>) の細則に従い、利益相反の状態の有無にかかわらず申告が必要です。形式は自由ですが、タイトルの次スライド（2 枚目）で COI について開示して下さい。また、すべてのスライドに、「録画・転載・転用禁止」の文言を記載して下さい。

○プログラム

全体進行 中嶋 聡一 (NPR医薬資源研究所)

13:00-

開会の辞

堀江 一郎 (山口東京理科大学)

13:05-14:25

プレナリーレクチャー 座長:吉野 鉄大 (慶應義塾大学)

オルガノイド研究の最前線ーMy Medicineの可能性

武部 貴則

東京医科歯科大学統合研究機構 先端医歯工学創成研究部門
創生医学コンソーシアム臓器発生・創生ユニット

14:35-

授賞式

振興賞

久保山 友晴 (第一薬科大学)

14:40-16:00

自論異論・若手討論会 (一般演題)

セッション A

座長:安藤 広和 (金沢大学)

A-1 痔瘻治療における薬線Kshara Sutraの作用機構の解明

横川 貴美

城西大学 薬学部 生薬学研究室

A-2 抗肥満作用を有する漢方薬の薬効と腸内細菌叢構成の関連性の検討

仲道 公輔

慶應義塾大学 大学院 薬学研究科 医療薬学部門

セッション B

座長: 佐々木 寛朗 (明治薬科大学)

B-1 和漢薬延命草 (Isodonis Herba) 含有ジテルペノイド成分の抗炎症活性

萬瀬 貴昭

近畿大学 薬学総合研究所 食品薬学研究室

B-2 HSP105発現抑制作用を介したがん細胞死誘導作用をもつ
薬用植物由来低分子化合物の探索

吉川 勇人

京都薬科大学 公衆衛生学分野

16:00-

閉会の辞

久保山 友晴 (第一薬科大学)

第3回若手研究者フォーラム組織委員会

オーガナイザー

中嶋聡一（NPR医薬資源研究所）

吉野鉄大（慶應義塾大学医学部漢方医学センター）

安藤広和（金沢大学医薬保健研究域薬学系）

佐々木寛朗（明治薬科大学薬学部）

運営事務局

慶應義塾大学医学部漢方医学センター

主催

和漢医薬学会次世代を担う若手研究者の会

後援

一般社団法人 和漢医薬学会

賛助会員(予定・50 音順)

- ・株式会社 Felicidad
- ・救心製薬株式会社
- ・クラシエホールディングス株式会社
- ・小太郎漢方株式会社
- ・ナチュラルプロダクトリサーチ合同会社

フォーラム宛寄付者(予定)

- ・株式会社ツムラ